

# 飯能市先輩職員インタビュー

## ～ 社会人経験者（技師） 編 ～



青木 孝之（平成24年度入庁）

建設部まちづくり推進課 計画担当 主査

### 【これまでの経歴】

平成24年度 建設部土地区画整理事務所

平成26年度 埼玉県飯能県土整備事務所へ派遣

平成28年度 建設部道路公園課（主査に昇任）

### ——現在の担当業務について教えてください。

定住人口の増加促進施策を担当しています。

「“農のある暮らし”飯能住まい」制度や、空き家対策の一つとして実施している「空き家バンク」制度などの業務が中心です。これまで経験した部署と比べると、技師として工事や現場に携わることは少ないですが、技師としての経験や知識を活かせる場面が多い業務です。

### ——転職先として飯能市を選んだ理由はなんですか。

前職では土木の建設会社で働いていました。国や県、市町村からの発注を受け、道路や下水処理場など、様々な公共工事を担当しました。当時の仕事もやりがいがありましたが、様々な地域の現場を経験していく中で、やはり地元である飯能市のために自分の知識や経験を活かしたいと思うようになり、飯能市を受験しました。

### ——“市役所”に転職することに不安はありましたか。

公務員になることへの不安はもちろんです。前職が施工業者であったこともあり、設計業務に対応できるかという不安はありました。ただ実際に入庁してみると、飯能市は私と同じように民間経験のある職員も多く、お互いに勉強しながら技術を高め合うことができ、とてもいい環境だなと感じています。

### ——最後に、飯能市役所の雰囲気をお教えてください。

前の質問でも触れましたが、飯能市には民間経験のある技師が多く、互いに勉強しながら、技術を高め合っています。そこに最近は若手の技師も入ってきていて、とてもいい環境で仕事ができていると思います。これは個人的な話になりますが、家族と過ごす時間もしっかり確保できていますし、とても充実しています。